

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道 知内町

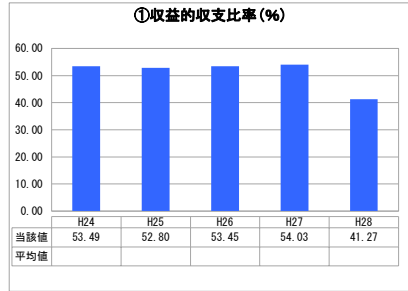
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	69.61	93.53	2,636

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,583	196.75	23.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,133	2.18	1,437.16

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



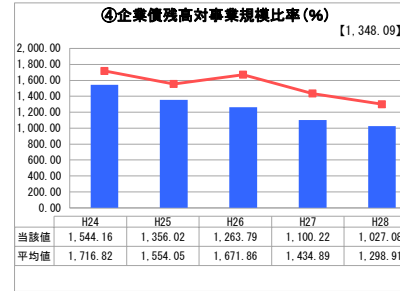
「単年度の収支」



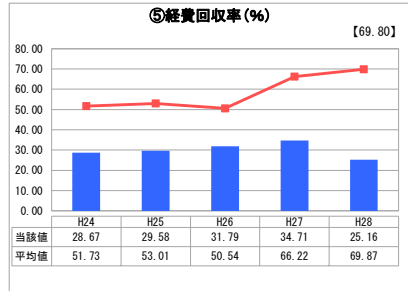
「累積欠損」



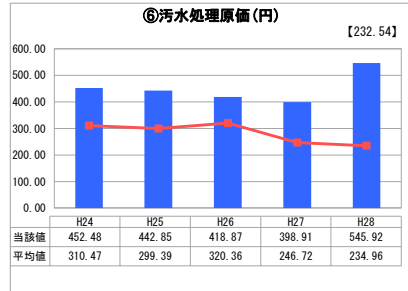
「支払能力」



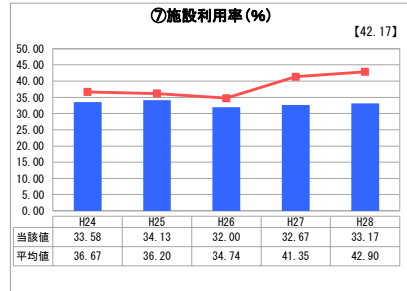
「債務残高」



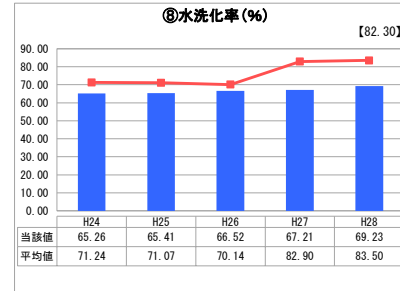
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

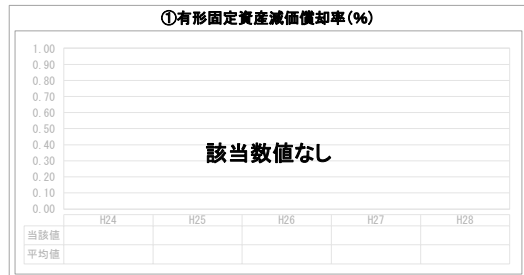


「施設の効率性」

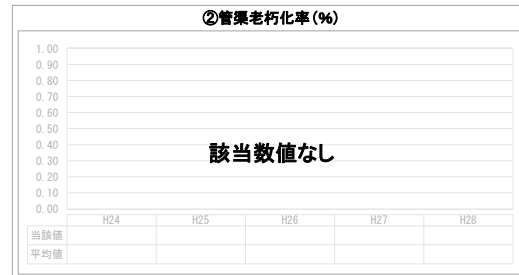


「使用料対象の捕捉」

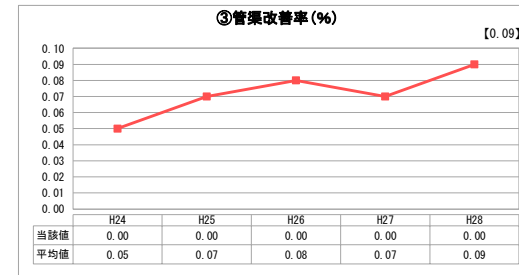
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
総費用と地方債償還金が総収益とどの程度賄えているかを表す指標である。近年50%程度しか賄えていない事を示し、更なる経営改善と料金収入の増加を図る必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
料金収入に対する企業債残高の割合であり、類似団体より低い数値であり比率も下がってきている。

⑤経費回収率
使用料で経費がどの程度賄えているかを表す指標である。H28で総費用の25%を使用料で賄っている事を示し、不足分は一般会計からの繰入金による。

⑥汚水処理原価、⑦施設利用率、⑧水洗化率
水洗化率が全ての指標に影響を与えている。H28の水洗化率は69.23%で類似団体よりも14%程度低い。水洗化率の向上により料金収入、有収水量も伸び汚水処理原価、施設利用率も改善が図られる。また、先に説明した指標も改善が図られる。水洗化率の向上のため更なる努力が必要である。

2. 老朽化の状況について

供用開始からの経過年数が15年であり老朽管路はない。

全体総括

一般会計からの繰入で経営が成り立っている状況である。水洗化率の向上による料金収入の増加、効率的な維持管理による費用の減少対策が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。